

食育を推進します！ ―給食センターの取り組み―

これまで、西伯、会見の給食センターにそれぞれ1名ずつの配置だった栄養士を、食育を推進するため今年度から1名増員しました。

食育とは、生涯を通じて健全な食生活の実現や食文化の継承、健康の確保等ができるよう「食」についての知識や判断力等を身につけるための学習の取り組みのことを指します。これまで給食は児童、生徒の栄養確保という面から取り組まれてきましたが、これからは食育の教材としての取り組みも求められています。

栄養士は給食の献立の作成や衛生管理が主な仕事でしたが、現在では学校に出かけ、授業や給食時間などに児童、生徒に対して、栄養のバランスや食物の役割などについてわかりやすく指導したり給食について話し合ったりしています。

また、給食を通して地域への理解を深めるため、給食の食材は地産地消に努めています。週四回実施している米飯は南部町産米を使用していますし、野菜等についても可能な限

り南部町産を使用しています。今後は郷土食を献立に取り入れることも考えていますので、南部町ならではのメニューがありましたらお知らせください。

児童、生徒の食育を推進するためには、家庭、地域の理解と協力が欠かせません。そこで「食育だより」などの広報の充実に取り組むとともに、町民の皆さんが参加しやすいよう、休日の給食試食会などの取り組みも計画しています。また、地域での親子料理教室等に栄養士、調理師を指導者として派遣したいと考えていますので、そのような催しを企画された際には、ぜひご相談ください。



教室で栄養バランスを指導する栄養士

エディ先生からのメッセージ

このような素晴らしい町に配属されたことを大変嬉しく思っています。南部町や鳥取県での生活は、日本での経験をこのように充実したものにしてくれたからです。たくさんの思い出をありがとうございました。

Edward G.Young III



南部中学校で花束をもらったエディ先生

**3年間お世話になりました
Goodbye! エディ先生**
小・中学校の英語活動でお世話になったヤング・エドワード先生が南部町の外国語指導助手（ALT）を7月24日で退職されました。スポーツ万能で、子ども好きな人柄から、どの学校でも人気者のエディ先生でした。9月からは韓国でALTとして活躍の予定です。

元オリンピック選手 杉山明美さんがやってきた！



児童・生徒を指導する杉山さん

7月20日、農業者トレーニングセンターでバレーボール元日本代表選手の杉山明美さんをお招きして、バレーボール教室を開催しました。

当日は、小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒が杉山さんの指導のもと、全身を使って運動したり、ボールに親しみ気持ちのいい汗を流しました。

杉山先生からは、実技指導のほか、オリンピック選手時代の悩みや、そこから学んだことなどを話され、挑戦することの大切さを教えていただきました。